

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-7	小学校	道徳	道徳	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳105	どうとく 1 きみがいちばん ひかるとき		

1. 編修の基本方針

主体的・対話的な学びから、 児童を深い学びに導き、豊かな道徳性を育みます

人格の完成を旨とする教育基本法に基づき、これからの学校には、一人一人の児童が、

- 自分のよさや可能性を認める
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重する
- 多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越える
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる

ことができるようにすることが、求められています。私たちは、これらの実現を旨として、3つの方針に則って教科書を編修しました。

1 成長に寄り添う教科書

児童の1年間の成長と、学校生活の流れに沿った年間構成としました。年間を3つのまとまりに分け、まとまりごとに、児童が自身の成長を実感でき、自己肯定感を高めることができるよう工夫しました。

2 学びを支える教科書

児童の主体的な学びが促せるよう、1時間の学びが、児童に見える教材構成としました。さらに、1時間の学びが、他教科や日常生活、次の道徳の授業へとつなげられるようにしました。

3 課題と向き合う心を養う教科書

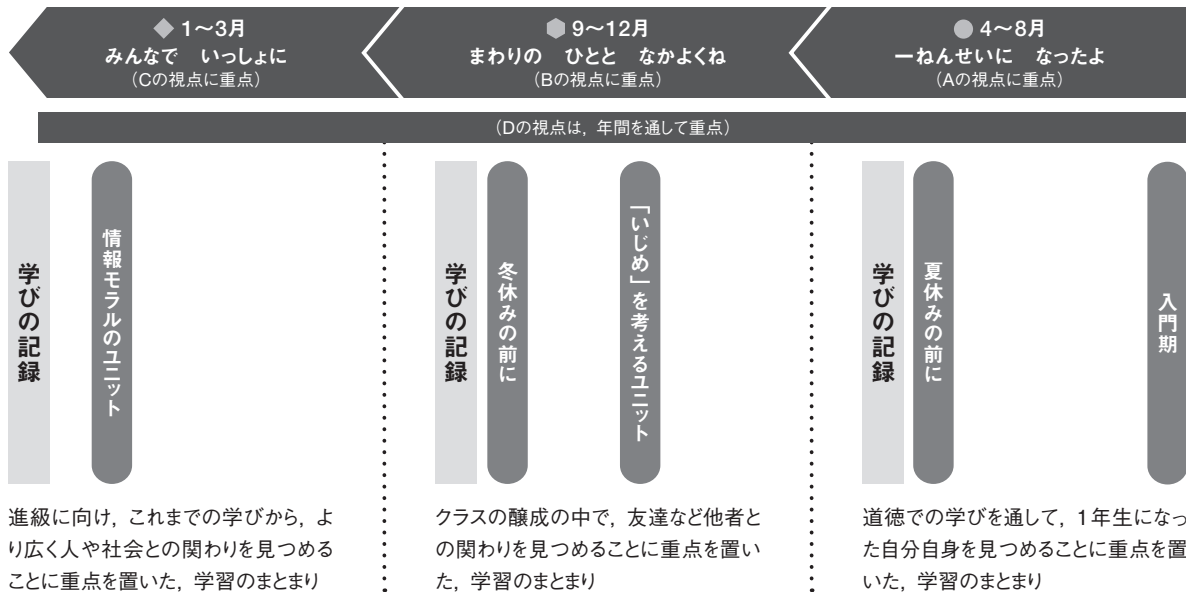
現代的な課題と道徳の学びを結び付けることで、児童が課題と向き合い、自分のこととして考えたり、多面的・多角的に自分の生き方について考えを深めたりできるようにしました。



1 成長に寄り添う教科書

年間構成の工夫

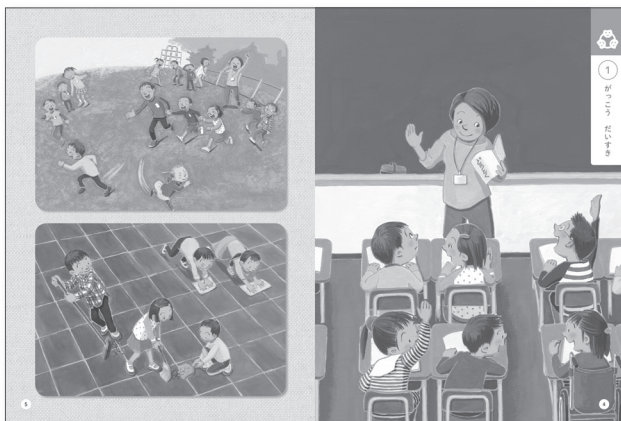
- 学校生活の実態と、それに伴う児童の成長を考慮した年間構成となるよう、1年間を3つのまとまりに分けました。
- まとまりごとに、それぞれAの視点、Bの視点、Cの視点に重点を置く構成としました。Dの視点については、年間を通して重点と捉え、随所に教材を配しました。
- まとまりごとに扉を設けることでめりはりをつけ、児童が新鮮な気持ちで道徳の学習に臨めるよう配慮しました。



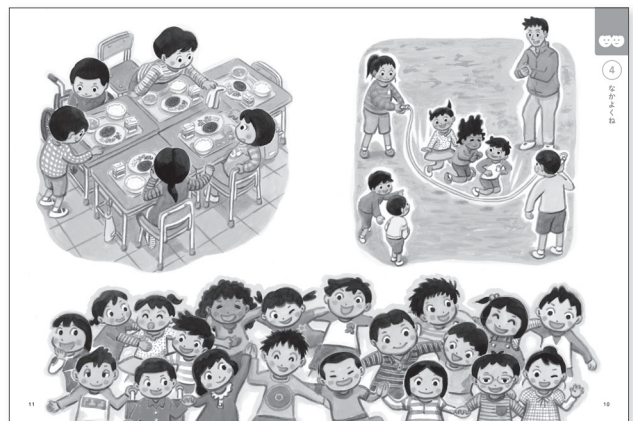
入門期——道徳との出会い

第1学年では、幼小の連携に配慮し、第5教材までを道徳の入門期（上図参照）と位置づけました。入学して間もない児童の生活実態と道徳の学びとを結び付けながら、道徳を学ぶことの楽しさを感じられるよう、児童の学習負担を軽くし、できる限り文字を入れずに、絵を見て考えを引き出す教材を配しました。

入門期では、自分を大切にし、他者と生活するうえで必要なこととは何かを考え、学校で生活することの気持ちよさを感じることができるようになることを意図した学びの流れとなるよう、内容項目を配列しています。



p.4-5 ①「がっこう だいすき」



p.10-11 ④「なかよくね」

2 学びを支える教科書

教材構成の工夫

1時間の学びが児童に見える教材構成としました。キャラクターが、いつも児童に寄り添い、語りかけます。また、「かんがえよう・はなしあおう」では、児童が主体的・対話的な学びを深められるような3つの問いを用意するとともに、教材の特性に応じて、書いたり、演じたりする言語活動を位置づけました。

学びを記録する

めあてを確認し、問いに沿って考えを深める

導入

p.77-80 ㊸「くりのみ」

「えっ。だされた、くりのみを、みているうちに、きつねのめから、ぼたりぼたりと、なみだがおちてきました。」

「かんがえよう・はなしあおう」
こまっぺは、ひとのために、どんなことができるか、いいでしよう。

●きつねが、「だめ、だめ、なんにもみつかりませんでした」と、いったのは、どうしてでしょう。

◎みつけた、くりのみの「つ」を、きつねにあげたとき、うさぎは、どんな、きもちだったでしょう。

●めから、ぼたりぼたりと、なみだがおちたとき、きつねは、どんな、ことを、かんがえて、いたでしょう。

21 くりのみ
やさしい きもちで

だれかに、やさしくされたとき、どんな、きもちになったかな。

かんがえよう・話し合おう

	たのしくまなべた。
	たくさんのかんがえられた。
	ともだちのよききげんを、よくきけた。

まなびのきろく

学びを記録する

低学年の児童が取り組みやすいよう、花びらに色を塗ることで、自身の学びを記録していきます (P.2上図参照)。低学年のうちから、学んだことを振り返る学習習慣が定着できます。

めあてを確認し、問いに沿って考えを深める

児童が、教材を通して何を学ぶのかをはっきりと意識することができるよう、学びのめあてを太字で示しました。また、めあてに沿って、次のように発問を構成しました。

- ①教材の内容について、児童が同じ共通理解に立つための問い
- ②道徳的価値に迫るための中心的な問い
- ③道徳的価値を自分や日々の生活に結び付けたり、問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりする問い

特に考えてほしい中心となる問いには、●(二重丸)を付しました。

導入

キャラクターが問いかけることで、児童が無理なく学習に入ることができるよう工夫しました。児童と、教材を通して考える道徳的価値とを結び付ける役割を果たします。

3 課題と向き合う心を養う教科書

現代的な課題を取り上げた「ユニット」の工夫

教材とコラムを組み合わせた『「いじめ」を考えるユニット』と『情報モラルユニット』を設けました(P.2上図参照)。コラムでは、自分が気づかないうちに友達に意地悪をしてしまっていることがないかを振り返ったり、情報モラルを学んでいくうえで基盤となる、きまりを守ることの大切さを考えたりできるようにしています。

[例 「いじめ」を考えるユニット]



全ての児童にとって使いやすく、わかりやすく

特別支援教育への配慮

教科書全体において、色覚特性や特別支援教育の観点から、専門家による校閲を受け、全ての人が使いやすいユニバーサルデザインの観点に立った編修とデザインを心がけました。

人権上の配慮

教科書全般にわたって、教材や挿絵に登場する人物や執筆者に性別による偏りがないようにするとともに、人種・身体的特徴などについても多様性に意を用い、人権に配慮した記述としました。また、人権教育の専門家に、全面的な校閲をお願いしました。

学習上の配慮

[判型について]

・B5判を左右に10ミリ広げ、綴じ方を工夫することで、文字や挿絵を大きく示しました。持ち運びやすいサイズで、児童の負担を最小限におさえます。

[文字について]

・文字の大きさは、発達段階、教材の内容によって、十分に配慮しました。
・文字の書体は、本文は原則として書き文字に近い教科書体活字を用いました。

[表記について]

・第1学年は、漢数字と片仮名以外は全て平仮名表記としました。

[文章の区切り]

・文章は、分かち書きとし、必ず文節で改行することで、児童の読みのつまずきを軽減しました。
・てびきの問いは、意味のまとまりで改行するようにし、児童が問われていることの意味をつかみやすいようにしました。

2. 対照表

[第1学年]

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	第2条との対照	該当頁
	巻頭詩	豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して創造性を養うために、詩の形式をとった児童へのメッセージを掲載した。	第一号, 第二号	表2-1
教材	2 きもちの よい せいかつ	豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな心身を養うことの大切さに気づくことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第一号	6-7
	8 かぼちゃの つる			18-23
	11 かぞくと おはなし			32-34
	18 ありがとうが いっぱい			68-69
	22 ひしゃくぼし			81-85
	6 みんな じょうず	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、成長する喜びが感じられるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	14-15
	31「すき」から うまれた 「そらめくん」			122-126
	34 みんな みんな、ありがとう			136-139
	3 あかるい あいさつ	他者との関わりの中で、自己を見つめ、自主及び自律の精神を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号	8-9
	10 きんの おの			28-31
	19 おふるそうじ			70-72
	23 わすれて いる こと、なあい			86-89
	26 これなら できる			100-103
	30 やれば できるんだ			118-121
	33 なわとびカード	133-135		
	9 どうして こう なるのかな	自身の生活と社会との関連を意識しながら、社会に奉仕し働くことを尊ぶとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与することの大切さに気づくことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第二号, 第三号	24-25
	25 きゅうしょくどうばん			96-99
	32 みんなが つかう ばしょだから			127-131
	1 がっこう だいすき	他者との関わりの中で、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第三号	4-5
	4 なかよくね			10-11
	5 よい ことと わるい こと			12-13
	14 とりかえっこ			48-51
	15 あしたは えんそく			52-55
	16 やめなさいよ			56-59
	17 にわの ことり			61-65
	20 ジャングルジム			73-76
	21 くりの み			77-80
	24 はしの うえの おおかみ			90-95
7 みんな いきてる	自他の生命を尊び、それらの生命を取り巻く自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。			第四号
12 あさがお		40-43		
13 いきて いるって		45-47		
29 ちいさな ふとん		114-117		
27 にほんの あそび	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国の伝統や文化を理解し、国際社会の平和を願う態度を養うことができるよう、児童の発達段階と学校生活に即した話題を取り上げ、教材を配置した。	第五号	110-111	
28 せかいの こどもたち			112-113	
特設ページ	〈こころを かよわそう〉 ともだちと もっと なかよく ならう	豊かな情操と道徳心を培うとともに、互いの価値を尊重しながら温かい人間関係が築けるようなページを設けた。	第一号, 第二号	26-27
	なんだろう なんだろう	幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができるようなページを設けた。	第一号	66-67
	まなびの きろく	個人の価値を尊重し、その能力を伸ばしていくために、学習した道徳的価値や、それに関連した自分自身のことを振り返り、自己評価ができるよう、学習を振り返る書き込み欄があるページを設けた。	第二号	36-38, 106-108, 140-142
	〈ふろく〉三つの「あ」で ともだちを つくろう!	教材と関連して、幅広い知識や豊かな人間関係を築こうとすることができる内容を付録として設けた。	第一号	143

編修趣意書

学習指導要領との対照表， 配当授業時数

※受理番号	学校	教科	種目	学年
30-7	小学校	道徳	道徳	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38光村	道徳105	どうとく 1 きみが いちばん ひかるとき		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 考えたくなる，語り合いたくなる授業を実現するために

新学習指導要領では，よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し，社会と連携・協働しながら，未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」の実現が掲げられています。

社会と連携・協働しながら，未来の創り手となる児童が育てられるよう，私たちは，道徳の授業を通じて生きて働く道徳性の育成ができる教科書を目指しました。

心を捉える多様な教材群

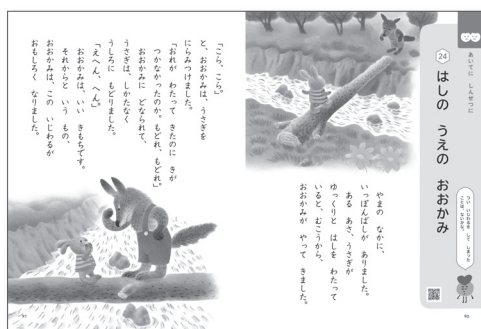
児童が，道徳的な問題について「考えたくなる」，友達と「語り合いたくなる」，自ら「行動したくなる」多様な教材を開発しました。お話の世界に遊ぶことが大好きな低学年の児童は，動物も含めた登場人物に感情移入し，自分のことのように考えます。その特性を捉え，多様なキャラクターが行動したり，等身大の子どもが悩んだりする，親しみやすい教材を作成しました。また，漫画形式や一枚絵から考える教材など，多様な教材を取り上げました。



p.32-34 ⑪「かぞくと おはなし」



p.48-51 ⑭「とりかえっこ」



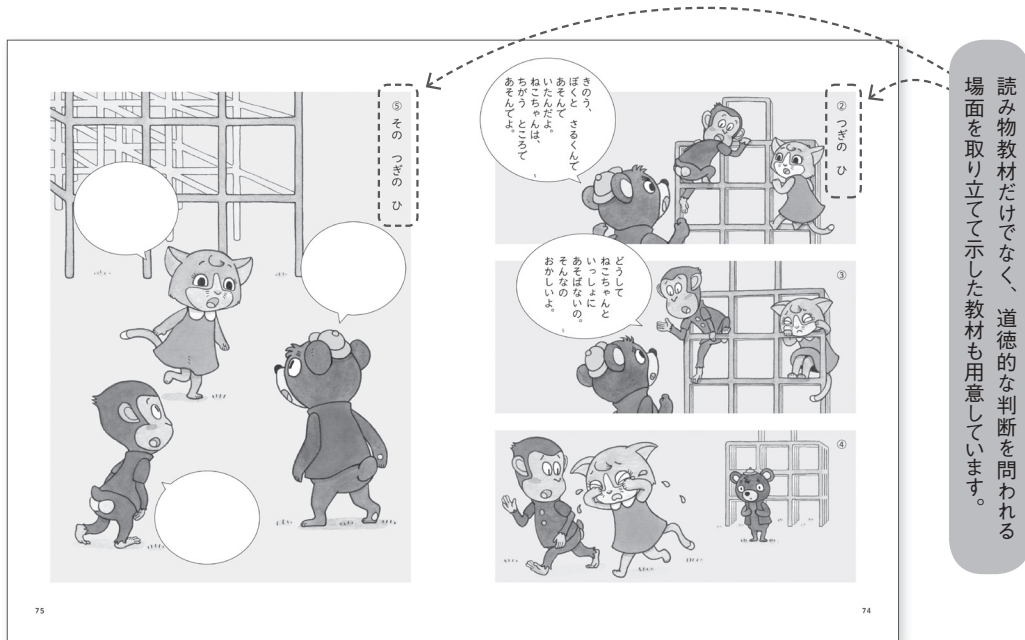
p.90-95 ⑳「はしの うえの おおかみ」



p.122-126 ㉑「『すき』から うまれた 『そらめくん』」

問題解決的な学習——道徳的な価値に基づき、問題を解決していく力を

児童が、道徳的な判断を問われる場面に出会ったとき、その問題を自分との関わりで見つめ、道徳的な価値に根差した判断をし、解決していく力を培えるよう、教材を構成しました。「かんがえよう・はなしあおう」で問題解決的な考えを促す問いを配したり、葛藤場面や判断を求められる場面を取り立てて示した教材を用意したりしています。

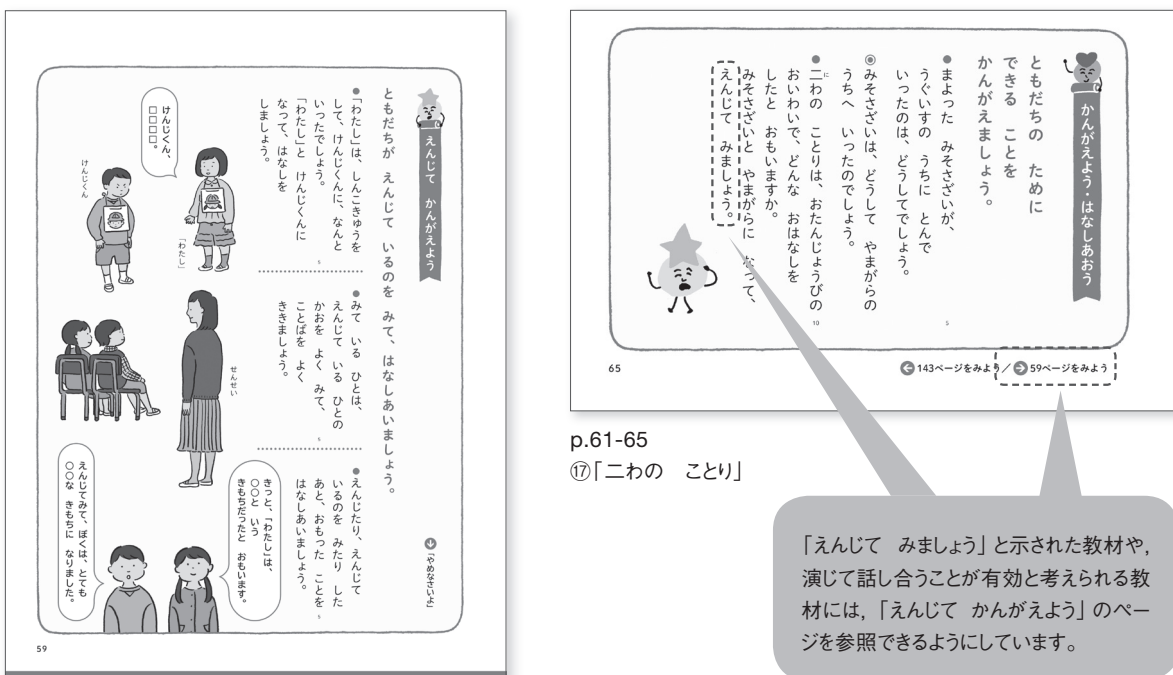


p.73-76 ㊹「ジャングルジム」

体験的な学習——「えんじて かんがえよう」(役割演技)

児童が、実感をもって道徳的価値について考えが深められるよう、「えんじて かんがえよう」を設けるとともに、随所に「えんじて みましよう。」という学習活動や、「にはいる ことばを かんがえましよう。」などの問いを用意しました。

役割演技は、演技することが目的ではなく、その後の話し合いが大切であることがわかるよう、丁寧に示しました。



p.59「えんじて かんがえよう」


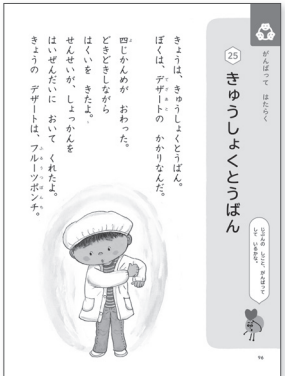
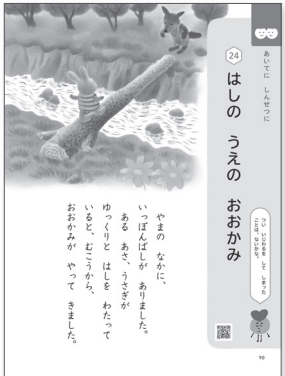

2 確かな道徳性を育むために

道徳科では、道徳教育の要としての役割を果たし、確かな道徳性を育むことが求められています。効果的な指導と、指導と一体になった評価を行っていくために、教科書で何ができるのかを追求しました。

道徳性の育成に配慮した教材配列

1時間1時間の学びが、児童の考えの深まりをより促せるよう、内容項目の関連に配慮した順序を意識して、教材を配列しました。

例えば、1年の第23教材から第26教材は、下のようになっています。ここでは、Bの視点に重点を置いた「まわりのひとと なかよくね」というまとまりの中で、特に「集団との関わりを考えて生活する」を意図しています。礼儀について自分を振り返り、他者に対して親切にすること、みんなのために働くことなどについて考えを深めるとともに、家族の中で自分のできる役割について考えるなど、集団の中での人との関わり方について学んでいくという学びの流れを構築しました。

C 家族愛、家庭生活の充実	C 勤労、公共の精神	B 親切、思いやり	B 礼儀
 <p>26 これなら できる</p>	 <p>25 きゆうしよくとうばん</p>	 <p>24 はしの うえの おおかみ</p>	 <p>23 わずれて いる こと、なあい</p>
p.100-103 ②6「これなら できる」	p.96-99 ②5「きゆうしよくとうばん」	p.90-95 ②4「はしの うえの おおかみ」	p.86-89 ②3「わずれて いる こと、なあい」

クラスづくりに——「こころを かよわそう」

小学生になって3か月を過ごし、児童がようやく学校生活に慣れ親しんだ6月の終わりに、「こころを かよわそう」を配しました。(2～6年は、5月の終わり。)

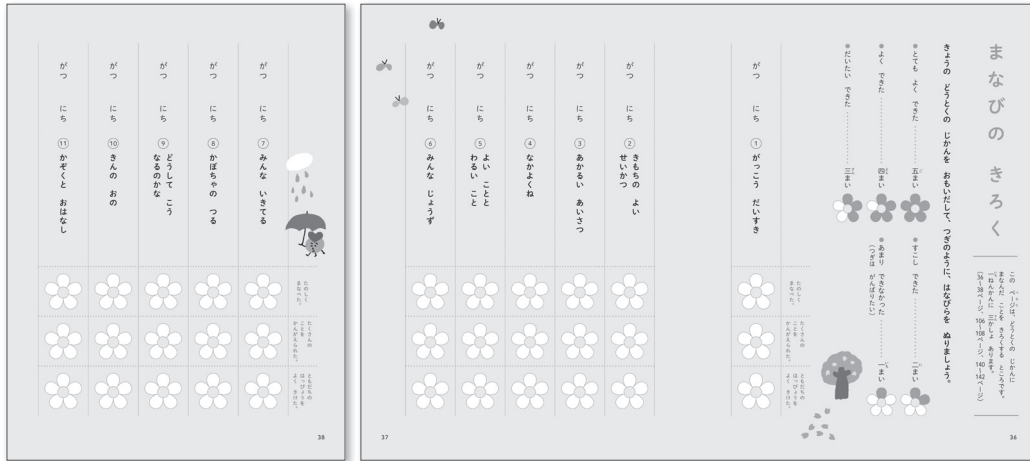
お互いを認め合えるクラスの醸成は、道徳の授業のみならず、児童が学校生活を送るうえで重要な要素です。この時期に、クラスの中でよりよい関係を築けるような活動に取り組むことで、信頼して話し合える道徳の授業づくりを促します。



p.26-27 こころを かよわそう「ともだちと もっと なかよく なるう」

児童の振り返りの場——「まなびの きろく」

「学習のまとめり」の区切り目の3か所に、「まなびの きろく」を設けました。児童が、毎時間の学びの記録をつけるとともに、「学習のまとめり」の区切りごとに、そこまでの自分の変化や成長をいつでも振り返ることができるように構成しました。児童の自己評価の記録を通して、教師が長期的に児童の成長を見取することも可能です。



p.36-38

考えることを楽しむ——「なんだろう なんだろう」

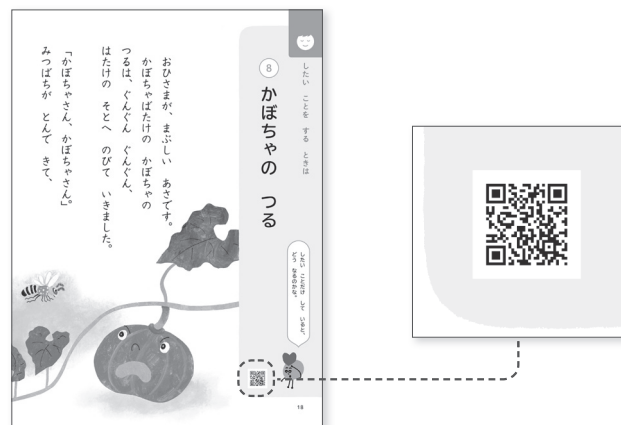
全学年に、1年『「がっこう」って、なんだろう』、2年「じぶんらしい『たのしい』って、なんだろう」、3年『「うそ」ってなんだろう』、4年『「友だち」ってなんだろう』、5年「生きる『しあわせ』ってなんだろう』、6年『「自分」ってなんだろう』というテーマを設け、それぞれのテーマについて、多面的・多角的に考えられるようなページを設けました。複数の道徳的価値が含まれた内容として、授業時間以外でも「考えること」を楽しむことができます。



p.66-67 『「がっこう」って、なんだろう』

効果的に活用できるデジタルコンテンツ

児童を引き込む、人気声優による朗読や、授業の導入や展開で活用できるオリジナル写真・動画、教材に関連する情報や写真・動画を見ることができるウェブサイトの紹介など、授業に役立つデジタルコンテンツを用意しました。



p.18-23 ⑧「かぼちゃの つる」

2. 対照表

[第 1 学年]

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当頁	配当時数	配当学期	
		視点*1							内容項目
		A	B	C	D				
巻頭詩						表2-1			
一ねんせいになつたよ	1 がっこう だいすき			○	よりよい学校生活, 集団生活の充実	4-5	1	一学期 11時間	
	2 きもちの よい せいかつ	○			節度, 節制	6-7	1		
	3 あかるい あいさつ		○		礼儀	8-9	1		
	4 なかよくね		○		友情, 信頼	10-11	1		
	5 よい ことと わるい こと	○			善悪の判断, 自律, 自由と責任	12-13	1		
	6 みんな じょうず	○			個性の伸長	14-15	1		
	7 みんな いきてる			○	生命の尊さ	16-17	1		
	8 かぼちゃの つる	○			節度, 節制	18-23	1		
	9 どうして こう なるのかな (こころを かよわそう) ともだちと もっと なかよく なるう			○	規則の尊重	24-25	1		
	10 きんの おの	○			正直, 誠実	28-31	1		
	11 かぞくと おはなし (なつやすみの まえに) どんな ことを しようかな			○	家族愛, 家庭生活の充実	32-34	1		
			○	家族愛, 家庭生活の充実	35				
まわりのひとと なかよくね	12 あさがお			○	自然愛護	40-43	1	二学期 15時間	
	13 いきて いるって			○	生命の尊さ	45-47	1		
	14 とりかえっこ ※2			○	よりよい学校生活, 集団生活の充実	48-51	1		
	15 あしたは えんそく			○	公正, 公平, 社会正義	52-55	1		
	16 やめなさいよ (コラム) こんな こと, して ない?	○			善悪の判断, 自律, 自由と責任	56-59	1		
	17 にわの ことり なんだろう なんだろう		○		友情, 信頼	61-65	1		
	18 ありがとうが いっぱい		○		感謝	68-69	1		
	19 おふろそうじ	○			希望と勇気, 努力と強い意志	70-72	1		
	20 ジャングルジム			○	公正, 公平, 社会正義	73-76	1		
	21 くりの み		○		親切, 思いやり	77-80	1		
	22 ひしゃくぼし			○	感動, 畏敬の念	81-85	1		
	23 わずれて いる こと, なあい		○		礼儀	86-89	1		
	24 はしの うえの おおかみ		○		親切, 思いやり	90-95	1		
	25 きゅうしよくとうばん			○	勤労, 公共の精神	96-99	1		
26 これなら できる (ふゆやすみの まえに) どんな おてつだいが できるかな			○	家族愛, 家庭生活の充実	100-103	1			
			○	家族愛, 家庭生活の充実	104-105				
みんなですいしよに	27 にほんの あそび			○	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	110-111	1	三学期 8時間	
	28 せかいの こどもたち			○	国際理解, 国際親善	112-113	1		
	29 ちいさな ふとん			○	生命の尊さ	114-117	1		
	30 やれば できるんだ	○			希望と勇気, 努力と強い意志	118-121	1		
	31 「すぎ」から うまれた 「そらめくん」	○			個性の伸長	122-126	1		
	32 みんなが つかう ばしょだから (コラム) きまりを まもらないと			○	規則の尊重	127-131	1		
				○	規則の尊重	132			
	33 なわとびカード	○			正直, 誠実	133-135	1		
34 みんな みんな, ありがとう		○		感謝	136-139	1			
(ふろく) 三つの 「あ」で ともだちを つくろう!		○		親切, 思いやり	143		適宜		
合計時数							34		

*1 視点の内容 A: 主として自分自身に関する事 B: 主として人との関わりに関する事 C: 主として集団や社会との関わりに関する事
D: 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関する事

*2 はユニット構成となっていることを示す。